

六条裸麦有望系統「四国裸糯 135 号」について

1 来歴

- (1) 育成地 農研機構 西日本農業研究センター
- (2) 交配組合わせ 「四系 9811」 ((イチバンボシ/ant26-483//イチバンボシ)F4)
/ 「四 R 系 2750」

2 特徴

- (1) 精麦用として利用が期待されるもち性の六条裸大麦である。
- (2) 「イチバンボシ」に比べ出穂期は同程度、成熟期は1日程度遅い。
- (3) 「イチバンボシ」に比べ、稈長、穂長は同程度、穂数は少ない。
- (4) 「イチバンボシ」に比べ、千粒重は同程度で、収量は低い。
- (5) 穂発芽耐性がある（やや難）。
- (6) 水溶性食物繊維「βグルカン」を多く含む。
- (7) ポリフェノール的一种である「プロアントシアニジン」を含まず、炊飯麦が褐変しにくい。

表 奨励品種決定調査結果(平成28、29、30年播の平均)

| 品種系統名 | 出穂期 (月日) | 成熟期 (月日) | 稈長 (cm) | 穂長 (cm) | 穂数 (本/m ²) | 千粒重 (g) | 整粒重 (kg/a) |
|----------|-------------|-------------|------------|------------|---------------------------|------------|---------------|
| 四国裸糯135号 | 4/3 | 5/19 | 80 | 4.4 | 497 | 32.8 | 50.7 |
| イチバンボシ | 4/3 | 5/18 | 78 | 4.5 | 574 | 33.0 | 58.3 |

注) 整粒重は2.0mm篩選による

3 令和元年播(令和2年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査(初年目)を県内5カ所で行い、現地適応性を検討中。

4 その他

近年、健康志向の高まり等から、高βグルカンもち性大麦の需要が非常に多く、新たなもち性大麦品種の導入が求められている。このため「キラリモチ」について、前年度より本調査および現地調査を実施している。「キラリモチ」は茨城県で認定品種に採用、作付拡大されており、実需の評価も高いものの、穂発芽耐性が弱い。そこで、もち性大麦の導入にあたり、「キラリモチ」とあわせ、穂発芽耐性がある「四国裸糯 135 号」について現地適応性の検討を開始した。